住みたいまち　雲南市

～人の輪が広がり、人が人を呼ぶ“移住の連鎖”へ～

【問】うんなん暮らし推進課　℡0854-40-1014

　雲南市では、人口減少対策を最重要課題とし、若者世代、子育て世代の定住促進を図っており、その一環で移住希望者への移住支援に取り組んでいます。

今月号では、雲南市への移住の”今”について紹介します。

◤　きめ細やかな移住支援、令和６年は６９人が移住！

市では移住支援として、住まい・仕事などはじめとする移住に関する相談をワンストップ窓口で対応し、土日・祝日にも移住相談を受け付け可能な体制となっています。さらに、特設サイト・公式SNSでの情報発信や東京都や大阪府などで開催される移住定住フェア等に参加し、雲南市での暮らしの情報提供や移住相談をしています。

この他にも、移住専門スタッフを配置するなどし、移住された方々から移住前後のきめ細やかなサポートが充実していると好評をいただいています。

きめ細やかなサポート１

内容はオーダーメイド！「雲南つながる体験プログラム」

雲南市での暮らしを体験してもらう「雲南つながる体験プログラム」では、移住希望者の希望に合わせて内容を調整しています。

このプログラムでは一泊二日で住む場所や働く場所、子育て環境の確認や、先輩移住者の訪問などを行っています。先輩移住者の訪問では、雲南市での暮らしや移住に関する体験を先輩移住者から話していただきます。移住希望者の方にとっては、実際に来てみて、地元の方と話をすることで雲南市での暮らしに触れる機会となり、移住への後押しとなっています。

きめ細やかなサポート２

充実した住まいの支援制度

　　・購入　子育て世帯定住宅地購入補助金

　　子育て世帯の宅地購入を支援（最大100万円）

・改修　うんなん子育て世帯応援リフォーム事業補助金

子育て世帯を対象に、子育てに配慮した改修に要する経費を一部助成（最大３０万円）

※「しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業」（島根県）への上乗せ助成

　・賃貸　民間賃貸住宅家賃助成事業

市内事業所へ通勤する方（新規就職含む）か新婚世帯のいずれか場合で、新たに市内の民間住宅に入居される場合に、家賃の一部を助成

※すでに今年度内の募集を終了している事業もあります。

　きめ細やかなサポート３

移住後も安心！移住者交流会でつながりづくり

　　移住者同士がつながり、地域をより知ってもらったり、移住後に困ったことなどの情報交換をするきっかけづくりとして、移住者同士の交流会を開催し、定期的なサポートを行っています。

　このほかにも、島根県などが実施する移住・就業などの事業も紹介し、雲南市への移住を支援しています。

◤　移住者の声「人のあたたかさを感じた」

移住された方の感想を伺うと、中山間地域ならではの「冬の寒さ」に関することや都会と比べると利便性が低いといったことなどがある一方、都会に比べてのびのびと暮らせることや自然や景観が素敵といった声がありました。

そんな感想の中でよく見掛けるのは“人のあたたかさ”を感じたというものでした。お試しで雲南市を訪れた際に地域の方とふれあい、“人のあたたかさ”、雲南市の“地域の良さ”を感じ、移住先の選択肢に雲南市が挙がることもあるようです。

　●移住者の声を紹介

「人があたたかいまちだなと、感じました。自分の周りの皆さんが気に掛けてくれて、声を掛けてくれることで元気がもらえます」

「子どもたちがのびのびと暮らしている姿が見られてうれしいです。人が優しいことも魅力に感じています」

「まずは人が優しく、時間的な余裕はもちろん心にゆとりができ、幸福感のある生活が送れました。雲南市のあいさつの文化には感動しました。いつもあいさつから幸せをもらっています」

「人もあたたかく、農業をやっていくにも周りの人がとても協力的で助かっています」

◤　住みたい田舎ベストランキング　４年連続 部門別全国１位！

さまざまな取り組みを展開している中、１月に発表された「第１３回 住みたい田舎ベストランキング」において雲南市が部門別の全国１位に選ばれました。これにより、第１０回から４年連続で部門別の全国１位に選ばれています。

●住みたい田舎ベストランキング

「住みたい田舎ベストランキング」は、雑誌「田舎暮らしの本」（宝島社）で行われているアンケート企画で、全国の自治体を対象に移住支援や各種支援制度などに関する314項目のアンケート結果を数値化し、人口規模ごとに比較し、「若者世代・単身者」、「子育て世代」、「シニア世代」、「総合」の部門ごとにランキングされます。

雲南市が第1位を獲得した部門

人口規模「３万人以上５万人未満のまち」

第１０回　若者世代・単身者

　　　　　　子育て世代

第１１回　シニア世代

第１２回　若者世代・単身者

第１３回　若者世代・単身者

　雑誌で紹介されていた雲南市の主な魅力は「住宅支援制度」をはじめ、「歴史・文化を感じられる環境」、「松江市・出雲市、空港へのアクセスのよさ」、そして「チャレンジしやすい環境」が挙げられていました。

◤　日本一チャレンジにやさしいまち 雲南市

　雲南市では子どもから大人まで、そして企業をはじめとしたさまざまな立場の方が多様な社会課題を解決する活動（チャレンジ）が市内各地で展開されています。

　市では、全国的にも珍しい「チャレンジ推進条例」を定め、持続可能なまちづくりを進めています。

　□挑戦する一歩を応援！「雲南スペシャルチャレンジ制度」

雲南市の未来のためにさまざまな課題に挑戦する方々を支援する「雲南スペシャルチャレンジ制度」（以下スペチャレ）。

積極的な学びに挑戦する中高生や地域で学びを深める大学生、社会課題の解決や地域の暮らしを豊かにするビジネスを創出する若者、社会人の活動を支援しています。

　　□“自分らしく、社会を生き抜く力を育む” 雲南市独自のキャリア教育（子どもチャレンジ）

生き生きと働く大人の姿に触れ「働くこと」を探究する中学校での“『夢』発見ウィーク（職場体験学習）”や自分を知り、社会（誰か）のために行動することを体感する高校での“雲南式探究プログラム”など、地域の温もりや自然の恵みのなかで、幼少期から一貫した教育プログラムを展開しています。

　□先駆者、経験者から学び合える、教わるコミュニティの存在（若者チャレンジ）

地域の事業者が集い、新規事業や事業転換のきっかけづくりの場「事業創出ラボ」、そしてまちづくりの実践者のための学び合いを支援するコミュニティ「ラボ」をはじめとした取り組みを実施し、地域課題解決を志す若者の人材育成・確保と課題解決につながるビジネスモデルの創出を図っています。

　□住民主体の地域づくりと企業の連携（大人チャレンジ・企業チャレンジ）

各地区では地域自主組織により、地域の特性に合わせた住民主体の地域づくりが進められています。

そんな地域と企業が協働し、社会課題を解決する取り組みも始まっています。

これらの取り組みをはじめ、市内で展開されているチャンレンジの実践を行政だけでなく、地域や民間団体、NPOなどの多様な主体が手を組み、応援・後押ししています。

◤　移住×社会課題解決人材＝地域おこし協力隊

外部人材を取り入れた地域づくりと移住促進を目的とした制度「地域おこし協力隊」を積極的に活用しています。着任した隊員は各分野で活動しており、鳥獣対策や空き家の流通、ドローンなどを活用した物流の推進に取り組んでいます。

さらに、この制度を活用し、社会課題の解決につながるビジネスのアイデアを持っている方を全国から募集し、市内でアイデアの実現に取り組む「起業型地域おこし協力隊Seed」を実施しています。現在では、着任した隊員が地域や市内で社会課題解決に取り組んできた事業者と連携し、地域づくりに寄与しています。

◤　人材の還流をめざして

　進学を機に市外に出て、地元に戻って来ない若者が多いことが課題となっており、卒業後の就職先・定住地として雲南市へのＵターンを促進する取り組みが必要となっています。

　現在、市では、市外に進学する学生とのつながりづくりを目的に、卒業を迎える高校３年生を対象に学生向け市公式への登録を依頼し、情報誌「卒業生応援マガジン 」を卒業後に定期的に送付する取り組みを行っています。

この情報誌には、市内で働いている方の姿や海外留学やインターンなどの大学生活に役立つ情報が掲載されています。受け取った学生からは「雲南市出身の若者のリアルを知ることができた。雲南市で働く大人が素敵だと感じた」など、雲南市を再認識できる機会となっています。

また、情報誌の制作には、これまで中高生の時にスぺチャレに取り組んだ大学生や若者などが「雲南市のために」という思いをもって協力してくれています。

◤　人のつながりが「移住の連鎖」を生んでいる

　移住者から聞く雲南市の魅力として、“人とのつながり”があります。先輩移住者からの情報が雲南市を知るきっかけとなったり、地域の人とのつながりが自分の仕事につながったり、移住者同士がつながりあってイベントを開催したりと、移住のきっかけや暮らしやすさにつながる“人の輪”が広がっています。このつながりを大切にし、これからも雲南市が住みたいまちに選ばれるよう取り組んでいきます。

◤　持続可能なまちをめざして

　今後も、持続可能なまちをめざし、「定住基盤の整備」、「人材育成・確保」をはじめとした取り組みを進めていきます。また、市民の皆さんにとって暮らし続けたいまちになるよう雲南市の魅力を積極的に発信し、人口の社会増の実現に向けて引き続き努力していきます。